

学校図書館の確立に向けて

「元気な図書館プロジェクト実践報告」

2016年11月10日(木)

図書館総合展第6会場

神代 浩

(文部科学省科学技術・学術総括官
兼政策課長)

I. 学校図書館の原点

II. 学校図書館の現状と課題

III. 学校図書館の確立に向けて

I.学校図書館の原点

- 1948年、文部省「学校図書館の手引」を作成

- まえがき

「従来、わが国では、教育施設の一部としての学校図書館が、あまり重視されていなかった。しかしながら、学校図書館は、新しい教育においては、極めて重要な役割と意義を持っている」

なぜ「図書室」でなく「図書館」か？

- 「学校図書館の手引」まえがき

「小、中学校の場合では、「学校図書室」と言う方が実情に即しているかもしれない。しかし、現に「学校図書館」として経営されているところもあり、将来の発展を予想し、(中略)「学校図書館」という称呼を用いることとした。」

「学校図書館の手引」目次

- 第1章 新教育における学校図書館の意義と役割
- 第2章 学校図書館の組織
- 第3章 学校図書館の整備
- 第4章 学校図書館の運用
- 第5章 学校図書館を中心とする学習活動の例とその評価

- 1948年 「学校図書館の手引」出版
→各地で講習会
- 1950年 全国学校図書館協議会
(全国SLA)創立
- 1953年 学校図書館法の制定

II.学校図書館の現状と課題

- 学校図書館の数？

≡ 学校の数

- 平成28年度学校基本調査(速報値)による学校(小、中、義務教育、高、中等教育、特別支援)の数

= 36, 196校

学校図書館と公共図書館

- 学校図書館数 $\div$ 36, 196館
 - 公共図書館数 $=$ 3, 336館
- (平成27年度社会教育調査中間報告)

人的整備の状況

(平成28年度「学校図書館の現状に関する調査」、以下同じ)

- 司書教諭の発令状況

小学校: 68. 0% (12学級以上: 99. 3%)

中学校: 65. 0% (12学級以上: 98. 3%)

高等学校: 84. 5% (12学級以上: 96. 1%)

- 学校司書の配置状況

小学校: 59. 2%

中学校: 58. 2%

高等学校: 66. 6%

物的整備の状況

- 平成27年度末に図書標準を達成している学校の割合

小学校：66.4%

中学校：55.3%

- 新聞を配備している学校の割合

小学校：41.1%（1校当たり1.3紙）

中学校：37.7%（1校当たり1.7紙）

高等学校：91.0%（1校当たり2.8紙）

アクセス環境の状況

- 授業日数のうち開館日数の割合
小学校: 93. 8%
中学校: 82. 7%
高等学校: 92. 1%
- 長期休業日数のうち開館日数の割合
小学校: 13. 8%
中学校: 12. 8%
高等学校: 39. 3%

学校図書館をめぐる課題

- 校舎内における学校図書館の位置
 - 資料の不足
 - スタッフの不足
 - 司書教諭と学校司書の関係
 - 学校教育における位置付け
- 等々

III.学校図書館の確立に向けて

Q 学校図書館は「学校」なのか、「図書館」なのか？

学校図書館を「学校」らしく

1. 学校図書館を校舎の真ん中に
2. 教職員が率先して学校図書館を利用
3. 教科書と学校図書館資料の連携
4. 教室から学校図書館へ
5. 学校図書館から教室へ
6. 校長を学校図書館の「館長」に

学校図書館を「図書館」らしく

1. スペースの確保
2. 資料・設備の充実
3. 職員の充実
4. サービスの充実（開館時間、レファレンス・サービス、保護者・地域住民の利用など）
5. 公共図書館との連携
6. 他の学校図書館との連携

元気な学校図書館プロジェクト

<https://cloud-app-support.fjas.fujitsu.com/libschool-vpr/>

- 公共図書館以上につながりにくい学校図書館をつなぎ、関係者の情報交換を通じて優れた取組を共有し、拡大することにより、学校図書館をより「学校」らしく、「図書館」らしく

むすびに

- 中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」(8月26日)

「社会に開かれた教育課程」

「小学校の外国語教育の教科化」

「高校の新科目「公共」(仮称)の新設」

「アクティブ・ラーニング」

「新しい教育」を求める動き

- キャリア教育
- ESD
- 消費者教育
- 主権者教育
- 食育
- 金融教育
- 法教育
- エネルギー教育
- プログラミング教育
- がん教育...

「これからの学校図書館の整備充実について」(報告)

- 10月20日公表

5. 今後求められる取組について

(1) 国に求められる取組

「学校図書館担当指導主事や司書教諭、学校司書等がその職務を担う際に参考となるよう、過去に文部省(当時)が作成したいわゆる「学校図書館の手引」について、今日までの学校図書館に関する諸施策及び学校教育の状況等を踏まえて新たに作成することが必要」

「学校図書館ガイドライン」「学校司書のモデルカリキュラム」の作成・周知・普及

学校図書館関係者のみなさまへ

1. 教職員とつながる
2. 学校図書館関係者同士で
つながる
3. 公共図書館とつながる
4. 社会とつながる

参考文献等

- 「学校図書館の手引」
(国立国会図書館デジタルコレクション)

<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1122721>

- 中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会
「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/gaiyou/1377051.htm

- 学校図書館の整備充実に関する調査研究協力者会議「これからの学校図書館の整備充実について(報告)」

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/115/houkoku/1378458.htm

- 神代浩・中山美由紀編著「困ったときには図書館へ2
学校図書館の挑戦と可能性」(悠光堂)